

イネ科通信 9

イネ科植物の防衛手段

1. イネ科植物とカメムシの臭い

スズメガヤからはカメムシの臭いがしますが、コスズメガヤからの悪臭はほとんどありません。これと似た関係がアブラススキとオオアブラススキにあります。

アブラススキからはカメムシの臭いが発生しますが、オオアブラススキからはほとんど臭いが出ません。カメムシが臭い出すことで外敵からの防御手段にしていると思われます。



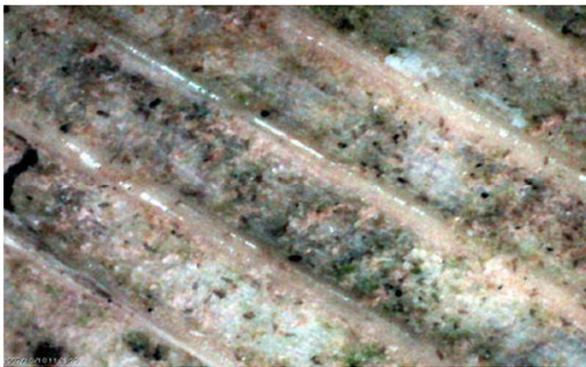
アブラススキ



オオアブラススキ

(注) アブラススキの花序は下垂しますがオオアブラススキの花序はほぼ垂直です。

2. イネ科植物とケイ酸塩 *下の写真はインターネットより転写しました。



イネ藁の走査型電子顕微鏡 200 倍写真



トクサ

植物のケイ酸塩の摂取効果として光合成率の向上、保水効果、葉の強度向上、虫害被害軽減などが挙げられます。イネ科の茎はケイ酸塩が集積しガラス質の堅固な構造となります。ケイ酸塩で覆われた維管束が鉄筋のようになり、維管束と維管束の間の壁で補強されています。イネ科ではありませんがトクサにもケイ酸塩が多量に含まれています。砥石のように茎でものを研ぐことができ、茎の先端にはツクシの頭部に似た孢子囊穂をつけた孢子ができます。

3. その他 ネコは体をなめて胃に溜まった毛玉を出すためにイネ科植物を好んでたべます。これはイネ科植物が胃で消化不良を起こすことを利用しています。